



高屋中学校だより

＜校訓＞ 正しく 仲よく たくましく

☆ 教育目標 「教養豊かで、たくましく生きる生徒の育成」

<http://www.edu.city.ibara.okayama.jp/site/takatyu/>

高屋中学校 12月号
(第8号)

令和3年12月15日

上手なコミュニケーションの取り方や考え方を学習しました



高屋中学校に来ていただいているスクールカウンセラーの先生に、すべての学級で授業をしていただくことにしています。3年生は、「コミュニケーションスキルアップ講座」と題して、話す時には言語だけでなく、言語以外からの情報が大切だということを教えていただきました。表情や声の調子（大きさ、高さ、速さ等）相手との距離



などによって受け取る側の印象は大きく違うということ。聞く側もうなずき等の動作によって話し手が話しやすかったり受け入れられているという感覚を持ったりできることを体験しながら実感しました。2年生は、同じ状況でも受け止め方によってプラスにもマイナスにもなるということを学習しました。どう考えてどう行動すれば、ストレスが小さくプラス思考に変えることができるのか。自分の考え方のクセを知ってこれをプラスに変えて行くにはどうすれば良いのかをそれぞれが考えました。1年生も授業を受ける予定です。多くの生徒が、プラス思考で上手にコミュニケーションを取ることで、楽しい学校生活を送れることを願っています。



懸命に櫂をつないだ

駅伝競争大会



今年も駅伝大会を目指して、希望する生徒男女合わせて約40名が、10月下旬から1ヶ月半にわたって放課後を中心に練習に励んできました。

11月19日（金）に岡山県中学校駅伝大会が開催され、昨年に続き男女ともに選抜された選手が参加しました。参加している中学校の多くは、陸上部やクラブチームで練習している選手がそろっている強豪ばかりで、上位に食い込むことはできませんでしたが、少しでも前で櫂をつなごうと一人一人が力一杯走りました。

12月12日（日）には、もう一つの目標だった井原市駅伝競走大会が開催されました。今年は男女各1チームが参加しました。選手は、一緒に練習に励んできた友達全員の思いを1本の櫂に込めて、任された区間を全力で駆け抜けていきました。結果は、男女ともに4位でしたが、区間賞を取った選手もおり健闘しました。

目標に向けて練習に取り組んできたことは、きっと今後に生かされると思います。



今年も空き缶アート制作中

高屋中学校の伝統になっている「空き缶アート」を、今年も全校生徒で実行委員会を中心に制作しています。これは30年以上高屋中学校で続いている取組です。保護者の方の中にも中学校の時に作ったという人もおられるのではないのでしょうか。生徒全員がそれぞれ作成したデザイン画の中から、採用するデザインを決定し10月から制作を始めました。まず、空き缶を洗浄しプルタブを取り針金を通す穴開けを実行委員会が行いました。空き缶への色塗りや絵に合わせて空き缶を針金に通すことは全校生徒で行いました。30個の缶を針金でつないだものを70本作りました。現在、それを渡り廊下につり下げて高さを調整する作業を行っています。完成をご期待ください。

